

八王子駅周辺地区における景観の将来像に関する提案書について

1 報告趣旨

八王子駅周辺では、近年、中心市街地の活性化及び再生に関する将来目標に資する公共的な施設整備が進んでいる。まちの姿(景観)が変化する機会に市民の意識醸成を促進するため、令和2年度(2020年度)から令和3年度(2021年度)に「未来の景観を考えるワークショップ」を行った。

ここで、市民及び専門家が期待するまちなかの将来像に関する提案を受けたことについて報告する。

2 報告内容

(1) 検討のねらい

まちなかの未来の姿を可視化し、イメージスケッチを作成する。

【イメージスケッチの作成目的】

- ①行政の将来目標(図1上)を景観で表現
- ②市民・専門家の期待(図1下)を反映

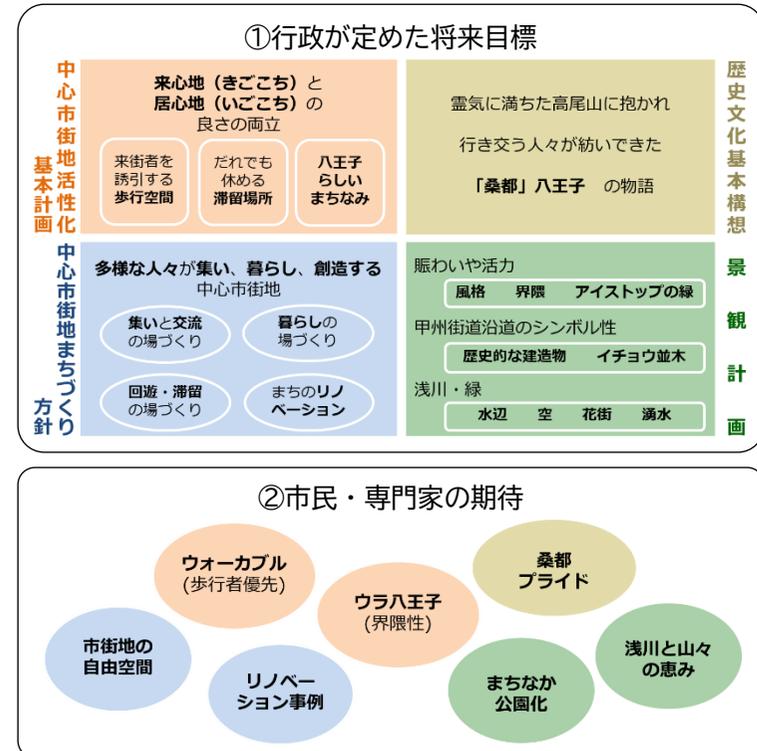


図1 イメージスケッチに描くこと

(2) 市民参加の状況

ア 「八王子駅周辺の未来の景観を考えるワークショップ」の開催

(ア)開催日：令和3年(2021年)3月29日、7月6日、11月15日、令和4年(2022年)2月9日(計4回)

(イ)参加者：商店会・町会等の市民(7名)、学生等(13名)

イ 景観デザイン会議の実施(計8回)

アの企画・運営・まとめの場。景観審議会委員及び景観アドバイザーの専門家3名にコーディネートを依頼。

(3) 提案の内容

ア 提案書：図2(表紙)及び別添資料のとおり

「八王子まちなか景観みらいものがたり～実現させたい未来のおはなし～」

イメージスケッチを用いて「こんな場所で、こんなことができたらいいな」を語るものがたり。

イ 対象範囲：地図(図3)着色部(景観計画に定める重点地区)



図2 提案書(表紙)

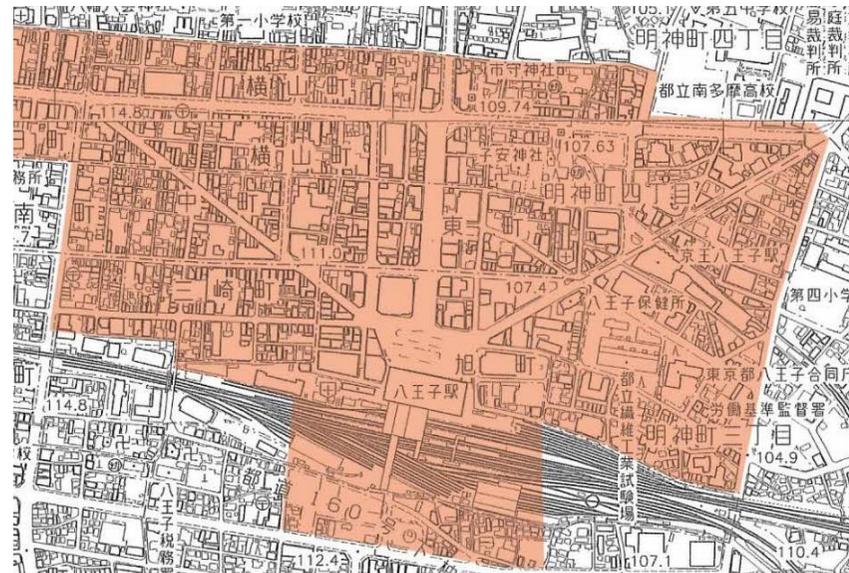


図3 対象範囲(着色部)

ウ 提案書の構成

前半：イメージスケッチを絵本風に編集したものがたり 後半：解説編

(4) 提案書の実現に向けた展開 (図4)

ア 周知：本地区に関わりのある市民に周知し、意識を醸成する。

イ 学生との協働による提案・実践：都市計画（建築）、屋外広告物、観光科学の各分野の高い専門性を持つ学生と、イメージスケッチの実現に資する実験的な取組みを令和4年度（2022年度）に実施。

取組例）ウェルカムフラッグプロジェクト：学生から提案されたデザインを9月下旬から設置予定

ウ 屋外広告物地域ルール等の策定：景観づくりの推進に必要なルール等の検討を進める。

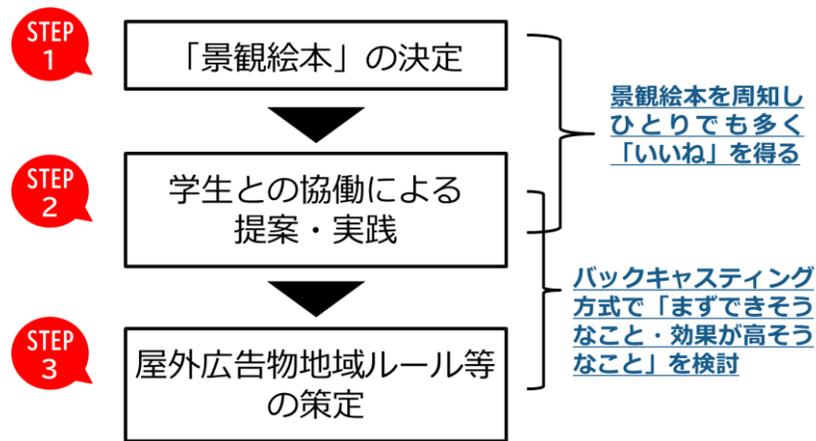


図4 提案書の実現に向けた展開



図5 ウェルカムフラッグプロジェクトのイメージ

3 今後の予定

令和4年（2022年）8月24日以降 順次公表